

木製建具工事における改善

- 作業効率化と
ゴミ低減 及び キズ防止

東京建築支店真栄会 仕上げ工事部会
加藤木材工業株式会社

1. テーマ設定の背景

- 数年前まで、100世帯程度のマンションは取付職人一人で十分な工程フローだった。



- 現在では、現場の工期短縮等の理由により、複数名の作業員が現場に入り、取付施工を行っている。

● 施工品質の統一、及び作業効率の向上

★ 施工手順の統一

● 誰も喜ばない支出の削減

★ 残材低減意識の向上

★ 傷の防止

2. 木製建具工事の流れ

- ①仕様打ち合わせ
- ②各納まり検討
- ③カラー・仕様の決定
- ④施工図の完成 承認
- ⑤部材 及び 使用金物の発注
- ⑥WD枠施工完了後、実測
- ⑦製作指示書を作成し、
製作工程へ指示
- ⑧現場工程に合わせて納品手配



2. 木製建具工事の流れ

⑨現場納品・間配り 取付施工

⑩自主検査

⑪初期不具合是正工事

⑫各種諸検査対応是正工事



3. 作業効率化とゴミ低減への取組

- 会社の倉庫にて**金物を各住戸毎に仕分けし**、出荷する



この作業は、主に短工期の現場の場合に、おこないます。
複数の職人が現場にて作業する場合、金物が不足したり、作業終了後に余ったりすることがあるため。確実に取付施工するため、また余分なコストをかけずにすむように金物の部屋毎仕分けを弊社倉庫にておこないます。
(作業スペースの多くとれる現場では、現場にて仕分けを行います)



これにより、短工期になり応援の職人をいれた際にもスムーズに作業に入ってもらえることができ、**金物取付け間違いをなくす**と共に、**無駄な在庫と現場におけるゴミの発生を低減**できました。

4. キズ対策 及び 作業手順の見直し

※社内にて徹底した教育(作業前・中のルール)実施

■ 製品の置き方



和室がある場合



洋室しかない場合

■ 住戸内での作業の際

丁番取付などの作業を行うスペースでは厚みのある養生材をしき作業する



WD開口部において作業する場合
工具類をフローリングの上に置く場合にはクッション性のあるシートの上に工具を置く



5. 取付完了後のチェックポイント

※社内にて徹底した教育(精度基準・自主管理ポイント)実施

- ①カラー等 仕様にあった製品が取りついているか？
- ②開閉運動をさせ、動きに不具合・音鳴りはないか？
- ③取付精度が基準に適合しているか？



吊元



戸先



上部



アンダーカット

6. 改善提案のメリット

- ①取付後の施工品質の統一化
- ②自社製品 他社施工工事へのダメ低減
- ③金物等、必要数量対応が事前に可能
- ④施工効率により、余分なコストがかからなくなった



※現場工程によっては取付手順を変更し、加工クズのでる作業のみフローリング施工前におこなう場合もあります。
(例えば枠のストライク加工)

7. まとめ

この改善の効果が全ての現場で、出ている訳ではありません。しかし、共通しているのは現場ひとつひとつ、それぞれの特色があります。

現場に入った全ての業種・人々の努力の結晶で竣工を迎えます。しかし、入居されるお客様とは、それから本当のお付き合いが始まります。より良い建物をつくるという使命を、これからも持ち続けていきます

木製建具工事は瑕疵件数の多い業種です。木製品だから、多少の狂いもしかたがない！で片付けず。いかにエンドユーザーに末永く気持ちよくお使いいただけるかを追求し、改善を繰り返していく。それにより、作業員の意識も高まり、精度の高い、高品質な製品提供につながっていくものと考えています。